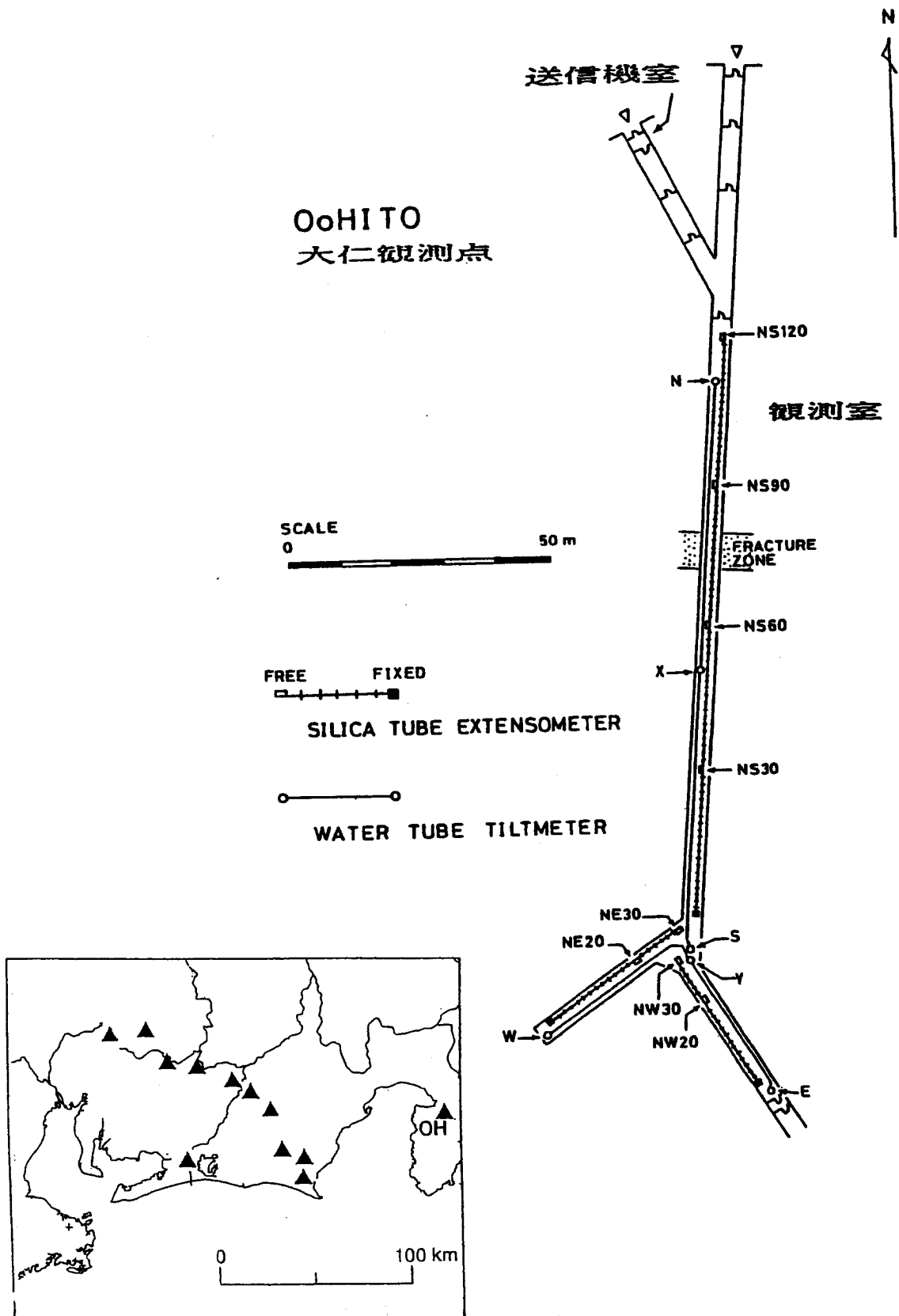


4 - 5 1996年10月伊豆半島東方沖の群発地震活動前後の大仁における歪変化 Strain Changes at Oohito before and after October 1996 Seismic Swarm off Ito.

名古屋大学理学部地震火山観測地域センター
Research Center for Seismology and Volcanology,
School of Science, Nagoya University

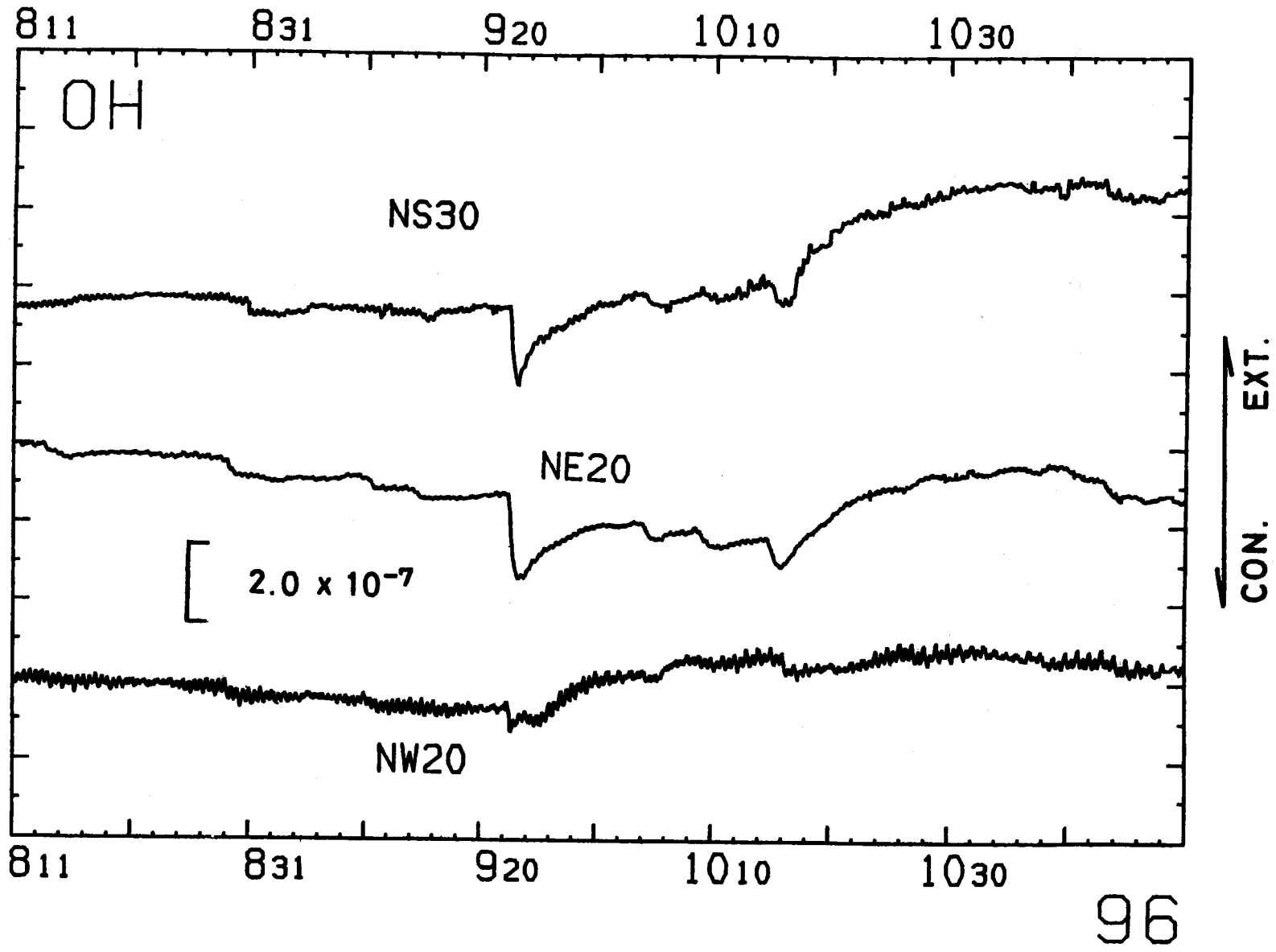
伊豆半島東方沖の群発地震活動が、1996年9月末と10月中旬に活発になったがその後静穏化し現在に至っている。震源域の西方約20Kmの地点にある大仁観測点(第1図のOHが観測点)の伸縮変化を第2図、第3図で示す。第3図の下方に気象庁の蒲田における1時間当りの地震回数と網代における降雨量を併記した。

通常、大仁観測点では、降雨の直後にその影響で坑道が収縮し、2~3日経てから回復する。9月下旬の最初の群発地震活動の前後は、降雨の影響が回復する過程であり、短周期の擾乱が比較的少ない時期であったが群発地震の活動に関連すると思われる伸縮変化は観測されなかった。また、10月中旬の活動の直前には降雨があり、短周期の擾乱が大きな時期であり、群発地震活動に関連する伸縮変化の有無を判断できない。降雨による擾乱は地震活動が終息した時期に合わせるかのように回復し現在に至っている。



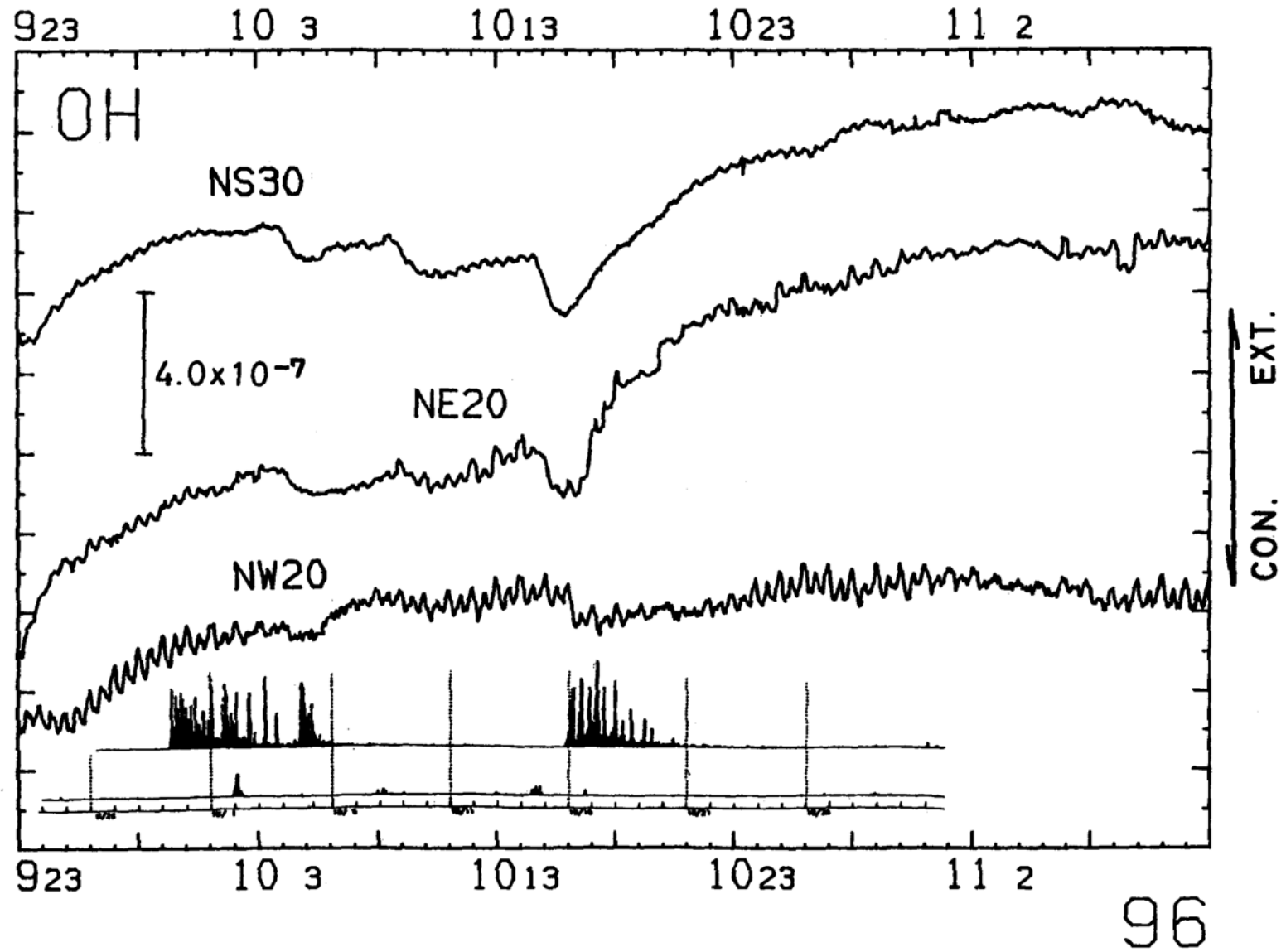
第1図 大仁観測点の位置と計器の配置図

Fig. 1 Location of Oohito station, observation tunnel and arrangement of instruments.



第2図 大仁観測点における伸縮変化 (1996年8月11日~11月20日)

Fig. 2 Strain changes at Oohito from August 11 to November 20, 1996.



第3図 大仁観測点における伸縮変化（1996年9月23日～11月11日）

Fig. 3 Strain changes at Oohito from September 23 to November 11, 1996.